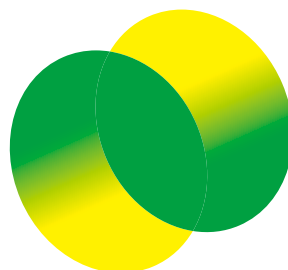


大学改革支援・学位授与機構  
30年のあゆみ

***Three Decades of NIAD-QE***

1991-2021

参考資料集



独立行政法人  
大学改革支援・学位授与機構

NIAD-QE

National Institution for Academic Degrees  
and Quality Enhancement of Higher Education



## まえがき

この参考資料集は、別冊の本文には掲載できなかった情報を集めたものである。これらの参考資料は、本文を補完するものであり、本文の関係箇所には、この冊子のページ数が記述されている。

また、関係法令等および中央教育審議会答申等については、記述されているURLを適宜閲覧されたい。

# 目 次

まえがき	i
関連法令等	1
中央教育審議会答申等	3
歴代機構長・所長・理事長	5
歴代理事	5
歴代監事	5
組織図	6
刊行物一覧	7
第一部 国際通用性の高い評価の実施	9
第二部 国立大学等の施設費等の貸付・交付	22
第三部 多様な学習の成果に基づく学位取得の機会の提供	23
第四部 大学等および質保証機関等との連携	27
第五部 調査研究の推進	33

## 関連法令等

- 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法（平成十五年法律第百十四号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=415AC0000000114>
- 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法施行令（平成二十八年政令第十二号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=428CO0000000012>
- 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に関する省令（平成十五年文部科学省令第五十九号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=415M60000080059>
- 独立行政法人通則法（平成十一年法律第百三号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=411AC0000000103>
- 独立行政法人の組織、運営及び管理に係る共通的な事項に関する政令（平成十二年政令第三百十六号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=412CO0000000316>
- 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=322AC0000000026>
- 学校教育法施行令（昭和二十八年政令第三百四十号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=328CO0000000340>
- 学校教育法施行規則（昭和二十二年文部省令第十一号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=322M40000080011>
- 学校教育法第百十条第二項に規定する基準を適用するに際して必要な細目を定める省令（平成十六年文部科学省令第七号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=416M60000080007>
- 大学設置基準（昭和三十一年文部省令第二十八号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=331M50000080028>
- 大学院設置基準（昭和四十九年文部省令第二十八号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=349M50000080028>
- 専門職大学院設置基準（平成十五年文部科学省令第十六号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=415M60000080016>
- 短期大学設置基準（昭和五十年文部省令第二十一号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=350M50000080021>

- 高等専門学校設置基準（昭和三十六年文部省令第二十三号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=336M50000080023>
- 法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律（平成十四年法律第百三十九号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=414AC0000000139>
- 国立大学法人法（平成十五年法律第百十二号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=415AC0000000112>
- 国立大学法人法施行令（平成十五年政令第四百七十八号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=415CO0000000478>
- 国立大学法人法施行規則（平成十五年文部科学省令第五十七号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=415M60000080057>
- 学位規則（昭和二十八年文部省令第九号）  
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=328M50000080009>

## 中央教育審議会答申等

- 平成12年度以降の高等教育の将来構想について（答申）（平成9年1月29日 大学審議会）  
[https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/old\\_chukyo/old\\_daigaku\\_index/toushin/1315841.htm](https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b_menu/shingi/old_chukyo/old_daigaku_index/toushin/1315841.htm)
- 高等教育の一層の改善について（答申）（平成9年12月18日 大学審議会）  
[https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/old\\_chukyo/old\\_daigaku\\_index/toushin/1315873.htm](https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b_menu/shingi/old_chukyo/old_daigaku_index/toushin/1315873.htm)
- 21世紀の大学像と今後の改革方針について―競争的環境の中で個性が輝く大学―（答申）（平成10年10月26日 大学審議会）  
[https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/old\\_chukyo/old\\_daigaku\\_index/toushin/1315932.htm](https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b_menu/shingi/old_chukyo/old_daigaku_index/toushin/1315932.htm)
- 科学技術創造立国を目指す我が国の学術研究の総合的推進について―「知的存在感のある国」を目指して―（答申）（平成11年6月 学術審議会）  
[https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/old\\_gijyutu/gakujyutu\\_index/toushin/1314989.htm](https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b_menu/shingi/old_gijyutu/gakujyutu_index/toushin/1314989.htm)
- グローバル化時代に求められる高等教育の在り方について（答申）（平成12年11月22日 大学審議会）  
[https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/old\\_chukyo/old\\_daigaku\\_index/toushin/1315960.htm](https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b_menu/shingi/old_chukyo/old_daigaku_index/toushin/1315960.htm)
- 大学の質の保証に係る新たなシステムの構築について（答申）（平成14年8月5日 中央教育審議会）  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/020801.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/020801.htm)
- 大学院における高度専門職業人養成について（答申）（平成14年8月5日 中央教育審議会）  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/020802.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/020802.htm)
- 法科大学院の設置基準等について（答申）平成14年8月5日 中央教育審議会）  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/020803.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/020803.htm)
- 我が国の高等教育の将来像（答申）（平成17年1月28日 中央教育審議会）  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/05013101.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/05013101.htm)
- 高等専門学校教育の充実について―ものづくり技術力の継承・発展とイノベーションの創出を目指して―（答申）（平成20年12月24日 中央教育審議会）  
[https://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/shingi/toushin/\\_icsFiles/afieldfile/2008/12/26/1217069\\_001.pdf](https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2008/12/26/1217069_001.pdf)

- 新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～（答申）（平成24年8月28日 中央教育審議会）

[https://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/shingi/toushin/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2012/10/04/1325048\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/__icsFiles/afieldfile/2012/10/04/1325048_1.pdf)

- 認証評価制度の充実に向けて（審議まとめ）（平成28年3月18日 大学分科会）

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2016/03/25/1368868\\_01.pdf](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/__icsFiles/afieldfile/2016/03/25/1368868_01.pdf)

- 2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）（平成30年11月26日 中央教育審議会）

[https://www.mext.go.jp/content/20200312-mxt\\_koutou01-100006282\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20200312-mxt_koutou01-100006282_1.pdf)

- 認証評価機関一覧（令和3年5月10日現在）

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1299085.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/houkoku/1299085.htm)



## 歴代機構長・所長・理事長

学位授与機構（1991.7～2000.3）機構長 大学評価・学位授与機構（2000.4～）機構長	国立学校財務センター（1992.7～2004.3）所長 国立大学財務・経営センター（2004.4～）理事長
田中郁三 1991.7.1～1998.3.31 木村 孟 1998.4.1～2009.3.31 平野眞一 2009.4.1～2012.3.31 野上智行 2012.4.1～2016.3.31	前川 正 1992.7.1～1999.3.31 大崎 仁 1999.4.1～2004.3.31 遠藤昭雄 2004.4.1～2010.3.31 豊田長康 2010.4.1～2013.3.31 高井陸雄 2013.4.1～2016.3.31
大学改革支援・学位授与機構 機構長	
福田秀樹 2016.4.1～	

## 歴代理事

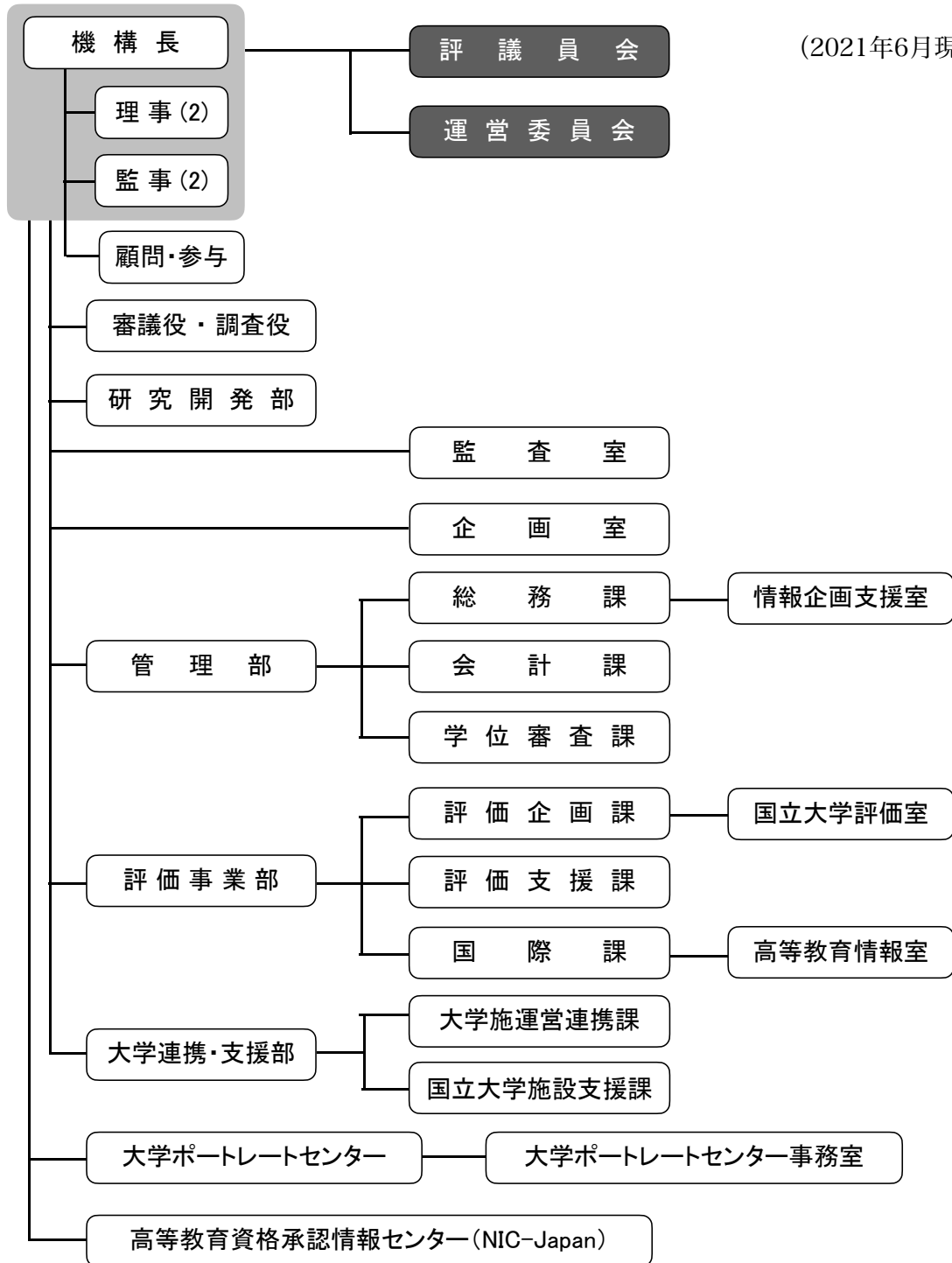
大学評価・学位授与機構（2003年度までは副機構長）	国立大学財務・経営センター
荒船次郎 2001.4.2～2006.3.31 川口昭彦 2006.4.1～2010.3.31 岡本和夫 2010.4.2～2016.3.31	高石道明 2000.4.1～2001.1.5 齊藤秀昭 2001.1.6～2002.3.31 福島健郎 2002.4.1～2004.3.31 長谷川裕恭 2004.4.1～2006.1.31 山本順二 2006.2.15～2008.3.31 工藤敏夫 2008.4.1～2010.3.30 福島健郎 2010.4.1～2013.3.30 山田道夫 2013.4.1～2016.3.31
大学改革支援・学位授与機構	
岡本和夫 2016.4.1～2018.4.1 長谷川壽一 2018.4.2～	三村洋史 2004.4.1～2006.1.31 芝田政之 2006.2.1～2008.7.10 吉田 靖 2008.7.11～2012.3.30 玉上 晃 2012.4.1～2016.3.30
森 晃憲 2016.4.1～2018.7.26 湊屋治夫 2018.7.27～	

## 歴代監事

大学評価・学位授与機構	国立大学財務・経営センター
観山正見（非常勤） 2004.4.1～2010.3.31 山野井昭雄（非常勤） 2004.4.1～2010.3.31 内海房子（非常勤） 2010.4.1～2011.6.30 舘 昭（非常勤） 2010.4.1～2016.3.31 島田京子（非常勤） 2011.7.1～2016.3.31	下郷少二 2004.4.1～2006.6.30 生駒俊明（非常勤） 2004.4.1～2010.3.31 山本勝彦 2006.7.1～2008.9.30 観山正見（非常勤） 2008.10.1～2016.3.31 小笠原 直（非常勤） 2010.4.1～2016.3.31
大学改革支援・学位授与機構	
小笠原 直（非常勤） 2016.4.1～ 柴 眞理子（非常勤） 2016.4.1～	

# 組 織 図

(2021年6月現在)



## 評価事業に関する諸会議

- 大学機関別認証評価委員会
- 高等専門学校機関別認証評価委員会
- 法科大学院認証評価委員会
- 国立大学教育研究評価委員会

## 施設費貸付・交付事業に関する会議

- 国立大学施設支援審議委員会

## 学位授与事業に関する会議

- 学位審査会

## 大学質保証事業に関する会議

- 大学ポータルセンター運営会議

# 刊行物一覧

## 広報関係

- 大学改革支援・学位授与機構概要（和文・英文）  
機構の設置・目的、沿革、組織・運営、業務等について説明  
和文概要 URL：<https://www.niad.ac.jp/about/outline.html>  
英文概要 URL：<https://www.niad.ac.jp/english/en-about/> → 「NIAD-QE Brochure」
- 機構ニュース  
機構に関する最新の情報を定期的に提供  
URL：[https://www.niad.ac.jp/publication/kikou/kikou\\_news/](https://www.niad.ac.jp/publication/kikou/kikou_news/)

## 評価事業関係

- 大学評価・学位授与機構 高等教育質保証シリーズ
- 大学評価・学位授与機構 大学評価シリーズ  
URL：<https://www.niad.ac.jp/publication/hyouka/evaluation.html>

## 施設費貸付・交付関係

- 国立大学法人の財務  
各国立大学法人が公表している財務諸表、事業報告書および決算報告書等のうち、財務関係の情報について集計・分析を行い、各国立大学法人が財務・経営改善の検討を行う際の参考資料  
URL：[https://www.niad.ac.jp/support/university\\_finance/](https://www.niad.ac.jp/support/university_finance/)

## 学位授与関係

- 新しい学士への途  
機構が行う学士の学位授与制度・申請方法などを詳しく説明  
URL：[https://www.niad.ac.jp/n\\_gakui/application/shinseishiryoku.html](https://www.niad.ac.jp/n_gakui/application/shinseishiryoku.html)
- 学位授与申請書類  
学位授与申請に必要な書類等のうち、機構が指定する書類様式など  
URL：[https://www.niad.ac.jp/n\\_gakui/application/shinseishiryoku.html](https://www.niad.ac.jp/n_gakui/application/shinseishiryoku.html)
- 学士をめざそう！  
学士の学位授与について、学位取得者の体験談及び学位取得までの流れなどを簡単に説明したリーフレット  
URL：[https://www.niad.ac.jp/n\\_gakui/application/shinseishiryoku.html](https://www.niad.ac.jp/n_gakui/application/shinseishiryoku.html)
- 機構が授与する学士の学位  
機構が授与する学士の学位について説明したリーフレット  
URL：[https://www.niad.ac.jp/n\\_gakui/application/shinseishiryoku.html](https://www.niad.ac.jp/n_gakui/application/shinseishiryoku.html)
- 科目等履修生制度の開設大学一覧  
科目等履修生制度の実施大学・学部、出願期間、授業料等を案内  
URL：[https://www.niad.ac.jp/n\\_gakui/application/kamokutou/](https://www.niad.ac.jp/n_gakui/application/kamokutou/)

○機構認定短期大学・高等専門学校専攻科一覧

機構が認定した短期大学，高等専門学校の専攻科、学生募集の概要、授業料等を案内

URL：[https://www.niad.ac.jp/n\\_gakui/application/senkouka.html](https://www.niad.ac.jp/n_gakui/application/senkouka.html)

○学位に付記する専攻分野の名称

わが国の大学が学位を授与する際に付記する専攻分野の名称について、機構が各大学の協力を得て実施した調査結果をとりまとめた一覧

URL：<https://www.niad.ac.jp/publication/gakui/meishou.html>

### 質保証・国際連携関係

○インフォメーション・パッケージ

高等教育の質保証に関する理解の深化に向けて高等教育分野における質保証について、高等教育制度も含めた関係用語や制度・歴史等の基本情報、具体的な評価事業の情報を一元的に提供する資料

URL：<https://www.niad.ac.jp/consolidation/international/publish/package.html>

○大学評価フォーラム、大学質保証フォーラム（詳細は表4-22 pp.26-27 参照）

URL：<https://www.niad.ac.jp/consolidation/international/forum/#case1>

○国際関係フォーラム・セミナー報告書等

URL：[https://www.niad.ac.jp/publication/kokusai/seminar\\_report/](https://www.niad.ac.jp/publication/kokusai/seminar_report/)

○大学改革支援・学位授与機構 大学改革マネジメントシリーズ

URL：<https://www.niad.ac.jp/publication/kokusai/management/>

### 調査研究関係

○学術誌「大学評価・学位研究」

URL：<https://www.niad.ac.jp/publication/tyousa/gakujutsushi.html>

○研究紀要「大学評価」

URL：<https://www.niad.ac.jp/publication/tyousa/hyouka.html>

○研究紀要「学位研究」

URL：<https://www.niad.ac.jp/publication/tyousa/gakui.html>

○調査研究プロジェクト報告書類（詳細は表5-21 pp.33-34 参照）

URL：<https://www.niad.ac.jp/publication/tyousa/project>

## 第一部 国際通用性の高い評価の実施

表1-21 大学審議会答申『21世紀の大学像と今後の改革方策について』（1998年10月26日）の内容概要

<p>1. 大学の個性化を目指す改革方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題探求能力の育成 —教育研究の質の向上—</li> <li>教育研究システムの柔構造化 —大学の自律性の確保—</li> <li>責任ある意思決定と実行 —組織運営体制の整備—</li> <li>多面的な評価システムの確立 —大学の個性化と教育研究の不断の改善—</li> <li>高等教育改革を進めるための基盤の確立等</li> </ul> <p>2. 多面的な評価システムの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己点検・評価の実施、その結果の公表および第三者の検証を大学責務と位置づける</li> <li>客観的な立場から透明性の高い評価を行うとともに、大学評価情報の収集・提供を行う第三者評価機関の設置</li> <li>様々な評価情報に基づき適切な公的資源配分の実施</li> </ul>
---

表1-22 試行的評価の実施状況

### ○全学テーマ別評価

実施年度	実施テーマ	対象機関 <sup>注1</sup>
2000年度着手 (～2001年度)	教育サービス面における社会貢献	国立大学（政策研究大学院大学・短期大学を除く98大学） 全大学共同利用機関（14機関）
	教養教育（2000年度は実状調査、評価は2001年度に実施）	国立大学（短期大学・大学院大学を除く95大学）
2001年度着手 (～2002年度)	研究活動面における社会との連携及び協力	国立大学（短期大学を除く99大学） 全大学共同利用機関（総合地球環境学研究所を除く14機関）
	国際的な連携及び交流活動	国立大学（短期大学を除く97大学） 全大学共同利用機関（総合地球環境学研究所を除く14機関） 東京都立科学技術大学*、愛知県立大学*、名古屋市立大学*、大阪市立大学*

### ○分野別教育評価

実施年度	分野	対象機関 <sup>注1</sup>
2000年度着手 (～2001年度)	理学系	千葉大学、東京大学、新潟大学、大阪大学、広島大学、熊本大
	医学系（医学）	秋田大学、群馬大学、岐阜大学、京都大学、高知医科大学、長崎大学
2001年度着手 (～2002年度)	法学系	東北大学、東京大学、新潟大学、金沢大学、神戸大学、香川大学
	教育学系	宮城教育大学、横浜国立大学、上越教育大学、京都教育大学、山口大学、福岡教育大学
	工学系	宇都宮大学、長岡技術科学大学、名古屋大学、和歌山大学、鳥取大学、九州工業大学

2002年度着手 (～2003年度)	人文学系	千葉大学、信州大学、大阪大学、大阪外国語大学、岡山大学、九州大学 東京都立大学*、愛知県立大学*、福岡県立大学*、福岡女子大学*
	経済学系	小樽商科大学、埼玉大学、滋賀大学、神戸大学、佐賀大学、長崎大学 青森公立大学*、東京都立大学*
	農学系	弘前大学、東京農工大学、静岡大学、島根大学、愛媛大学、鹿児島大学 大阪府立大学*
	総合科学 <sup>注2</sup>	北海道大学、群馬大学、東京大学、徳島大学 名古屋市立大*、福岡女子大学*

○分野別研究評価

実施年度	分野	対象機関 <sup>注1</sup>
2000年度着手 (～2001年度)	理学系	東北大学、埼玉大学、金沢大学、神戸大学、愛媛大学、国立天文台
	医学系 (医学)	北海道大学、筑波大学、東京医科歯科大学 (難治疾患研究所)、 福井医科大学、岡山大学、宮崎医科大学
2001年度着手 (～2002年度)	法学系	一橋大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、広島大学、九州大学
	教育学系	弘前大学、筑波大学、東京学芸大学、信州大学、鳴門教育大学、 メディア教育開発センター
	工学系	北海道大学、東京大学、徳島大学、宮崎大学、 奈良先端科学技術大学院大学、東京工業大学 (精密工学研究所)
2002年度着手 (～2003年度)	人文学系	東北大学、富山大学、名古屋大学、山口大学、熊本大学、 国立民族学博物館 東京都立大学*、福岡県立大学*、福岡女子大学*
	経済学系	一橋大学、横浜国立大学、金沢大学、和歌山大学、香川大学、大分大学 東京都立大学*、名古屋市立大学*
	農学系	岩手大学、宇都宮大学、新潟大学、岐阜大学、京都大学、広島大学 大阪府立大学*
	総合科学 <sup>注2</sup>	北海道大学、群馬大学、東京大学、徳島大学 名古屋市立大*、福岡女子大学*

注1 分野別教育評価では、大学の当該分野の学部・研究科それぞれを単位とし、分野別研究研究評価では、当該分野の学部・研究科、附置研究所を一単位として評価を実施した。なお、分野別教育評価・分野別研究評価の対象学部・研究科名については省略する。\*公立大学を示す。

注2 総合科学については、分野別教育・研究評価の対象を同一の機関とした。

表1-23 大学機関別認証評価実施実績（受審大学数を示す。\*私立は株式会社立も含む）

	設置形態	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	合計
1 巡 目	国立	2	7	37	4	27	7	1	85
	公立	2	3	0	5	10	15	5	40
	私立*	0	0	1	2	0	3	1	7
	計	4	10	38	11	37	25	7	132
	設置形態	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	合計
2 巡 目	国立	3	18	28	25	3	7	1	85
	公立	1	3	0	6	15	5	4	34
	私立*	0	0	1	2	0	2	0	5
	計	4	21	29	33	18	14	5	124

3巡目：2019年度 国立 16大学、2020年度 国立 5大学、公立 1大学

表1-24 大学機関別認証評価1巡目の大学評価基準

基準1 大学の目的 目的の明確性、適合性／目的の大学構成員への周知、社会への公表
基準2 教育研究組織（実施体制） 教育研究に係る基本的な組織構成／教育活動を展開する上で必要な運営体制
基準3 教育及び教育支援者 教員の配置／教員の採用及び昇格等／教育の目的を達成するための基礎となる研究活動／教育支援者の配置、教育補助者の活用
基準4 学生の受入 アドミッションポリシーの明確性、公表・周知／アドミッションポリシーに沿った受入／実入学者数と入学定員
基準5 教育内容及び方法 学士課程：教育課程／授業形態、学習指導法等／成績評価、単位認定、卒業認定 大学院課程：教育課程／授業形態、学習指導法等／研究指導／成績評価、単位認定、修了認定 専門職大学院課程：教育課程／教育課程と当該職業分野／授業形態、学習指導法等／成績評価、単位認定、修了認定
基準6 教育の成果 目的に照らして教育の成果や効果が上がっていること
基準7 学生支援等 履修指導、学習支援／自主的学習支援の環境／学生の生活・就職等に関する支援等
基準8 施設・設備 教育研究組織・教育課程に対応した施設・設備／図書等資料の系統的整備
基準9 教育の質の向上及び改善のためのシステム 教育の状況を点検・評価し、それに基づき改善・向上を図る体制／教員、教育支援者等の資質向上を図るための取組
基準10 財務 財務基盤／収支計画等／財務監査等
基準11 管理運営 管理運営体制及び事務組織／管理運営方針の明確性、各構成員の責務と権限の明確性／大学の活動の総合的な状況の自己点検・評価、結果の公表

図1-21 大学機関別認証評価のプロセスとスケジュール

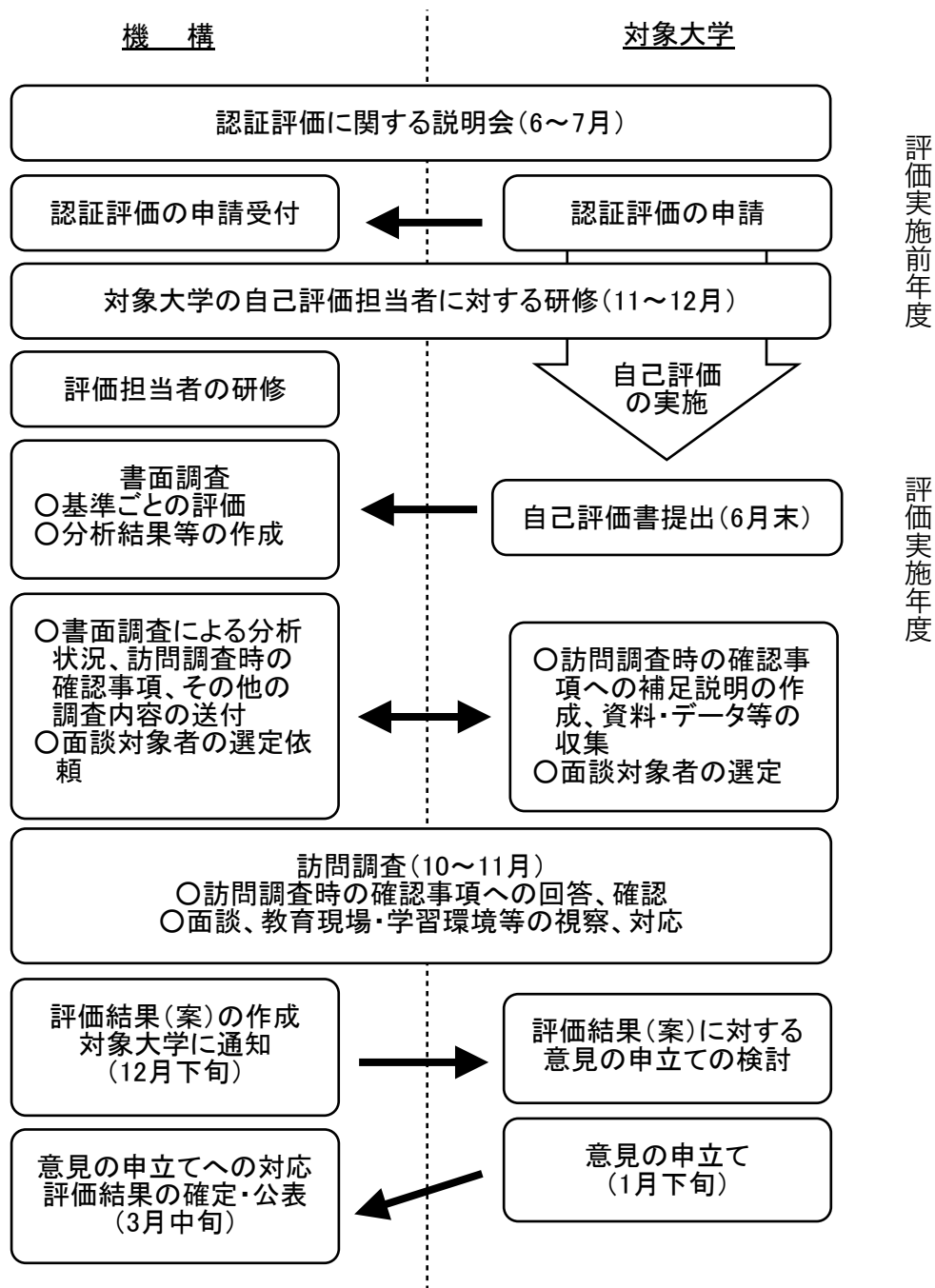




表1-25 大学機関別認証評価3巡目の大学評価基準

<u>領域1 教育研究上の基本組織に関する基準</u>	
基準1-1	教育研究上の基本組織が、大学等の目的に照らして適切に構成されていること
基準1-2	教育研究活動等の展開に必要な教員が適切に配置されていること
基準1-3	教育研究活動等を展開する上で、必要な運営体制が適切に整備され機能していること
<u>領域2 内部質保証に関する基準</u>	
基準2-1	【重点評価項目】内部質保証に係る体制が明確に規定されていること
基準2-2	【重点評価項目】内部質保証のための手順が明確に規定されていること
基準2-3	【重点評価項目】内部質保証が有効に機能していること
基準2-4	教育研究上の基本組織の新設や変更等重要な見直しを行うにあたり、大学としての適切性等に関する検証が行われる仕組みを有していること
基準2-5	組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること
<u>領域3 財務運営、管理運営及び情報の公表に関する基準</u>	
基準3-1	財務運営が大学等の目的に照らして適切であること
基準3-2	管理運営のための体制が明確に規定され、機能していること
基準3-3	管理運営を円滑に行うための事務組織が、適切な規模と機能を有していること
基準3-4	教員と事務職員等との役割分担が適切であり、これらの者の間の連携体制が確保され、能力を向上させる取組が実施されていること
基準3-5	財務及び管理運営に関する内部統制及び監査の体制が機能していること
基準3-6	大学の教育研究活動等に関する情報の公表が適切であること
<u>領域4 施設及び設備並びに学生支援に関する基準</u>	
基準4-1	教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること
基準4-2	学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること
<u>領域5 学生の受入に関する基準</u>	
基準5-1	学生受入方針が明確に定められていること
基準5-2	学生の受入が適切に実施されていること
基準5-3	実入学者数が入学定員に対して適正な数となっていること
<u>領域6 教育課程と学習成果に関する基準</u>	
基準6-1	学位授与方針が具体的かつ明確であること
基準6-2	教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること
基準6-3	教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること
基準6-4	学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること
基準6-5	学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること
基準6-6	教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
基準6-7	大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業（修了）判定が実施されていること
基準6-8	大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること

図1-22 認証評価 共通基礎データ（抜粋 例示）

学 士 課 程	学部・学科等の名称	専任教員等							基準数	うち教授数	助手	非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考				
		教授	准教授	講師	助教	計	専任教員											
教 員 組 織	〇〇学部〇〇学科	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人					
	△△課程	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人					
	(大学全体の収容定員に応じた教員数)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
	計	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人					
学 士 課 程 ( 専 門 職 学 科 等 含 む )	学部・学科等の名称	専任教員等											非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考			
		教授	准教授	講師	助教	計	専任教員	うち実務家専任教員数	うち2項該当数	うちみなし専任教員数	基準数	うち教授数				うち実務家教員数	うち2項該当数	うちみなし専任教員数
	〇〇学部〇〇学科	人	人	人	人	人	—	—	—	—	人	人	—	—	—	人	人	人
	△△課程	人	人	人	人	人	—	—	—	—	人	人	—	—	—	人	人	人
	〇〇学部〇〇専門職学科	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
(大学全体の収容定員に応じた教員数)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
大 学 院 課 程	研究科・専攻等の名称	研究指導教員及び研究指導補助教員											助手	非常勤教員	備考			
		研究指導教員	うち教授数	研究指導補助教員	計	研究指導教員基準数	うち教授数	研究指導補助教員基準数	基準数計									
	〇〇研究科〇〇専攻(M)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
	〇〇専攻(D)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
計	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		
専 門 職 学 位 課 程	研究科・専攻等の名称	専任教員											助手	非常勤教員	備考			
		専任教員	うち教授数	うち実務家専任教員数	うちみなし専任教員数	基準数	うち教授数	うち実務家教員数	うちみなし専任教員数									
	□□研究科□□専攻	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
	法務研究科法務専攻	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
計	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人			

表1-26 高等専門学校機関別認証評価実施実績（受審学校数を示す）

1 巡 目	設置形態	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	合計	
	1 巡 目	国立	17	18	19	0	0	1	55
公立		0	0	0	1	0	1	2	
私立		1	0	1	1	0	0	3	
計		18	18	20	2	0	2	60	
2 巡 目	設置形態	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	合計
	国立	6	12	14	14	0	4	3	53
	公立	0	1	0	0	1	0	1	3
	私立	0	1	0	1	1	0	0	3
計	6	14	14	15	2	4	4	59	

3 巡目：2018年度 国立 6 学校、2019年度 国立 11 学校、公立 1 学校、私立 1 学校、  
2020年度 国立 13 学校

表1-27 法科大学院認証評価基準

1 巡目 (2005年度～2010年度)	2 巡目 (2011年度～2015年度) 3 巡目 (2016年度～2020年度)
第1章 教育目的 (2基準)	第1章 教育の理念及び目標 (2基準)
第2章 教育内容 (4基準)	第2章 教育内容 (9基準)
第3章 教育方法 (4基準)	第3章 教育方法 (4基準)
第4章 成績評価及び修了認定 (5基準)	第4章 成績評価及び修了認定 (5基準)
第5章 教育内容等の改善措置 (2基準)	第5章 教育内容等の改善措置 (1基準)
第6章 入学者選抜等 (7基準)	第6章 入学者選抜等 (8基準)
第7章 学生の支援体制 (6基準)	第7章 学生の支援体制 (4基準)
第8章 教員組織 (11基準)	第8章 教員組織 (11基準)
第9章 管理運営等 (10基準)	第9章 管理運営等 (3基準)
第10章 施設、設備及び図書館等 (3基準)	第10章 施設、設備及び図書館等 (1基準)
	第11章 自己点検及び評価等 (3基準)

表1-28 短期大学機関別認証評価実施実績 (受審短期大学数を示す)

	設置形態	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	合計
1 巡 目	国立	—	—	—	—	—	—	—
	公立	2	1	1	2	1	5	12
	私立	0	0	1	0	0	0	1
	計	2	1	2	2	1	5	13

表1-29 機関別認証評価選択的評価事項の受審状況（受審校数を示す）

大学

設置形態	2006年度		2007年度		2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		合計
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	
国立	7	3	8	8	0	0	0	1	0	0	0	0	27
公立	1	1	0	0	1	2	2	2	7	10	1	2	29
私立	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	4
計	8	4	8	8	2	2	2	3	7	12	1	3	60

高等専門学校

設置形態	2006年度		2007年度		2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		合計
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	
国立	18	18	19	19	0	0	0	0	0	0	6	6	12	12	110
公立	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4
私立	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	18	18	20	20	1	1	0	0	1	1	6	6	12	12	116

設置形態	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		合計
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	
国立	14	14	14	14	0	0	4	4	3	3	6	6	11	11	104
公立	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4
私立	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計	14	14	15	15	2	1	4	4	4	4	6	6	11	11	111

短期大学 A：2007年度 1大学 B：2007年度 1大学、2008年度 2大学、2010年度 2大学

表1-30 大学機関別選択評価の実施状況（受審大学数を示す）

設置形態	2012年度			2013年度			2014年度			2015年度			合計
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	
国立	0	0	0	0	1	0	1	4	3	1	2	0	12
公立	0	1	0	2	2	0	0	0	0	2	4	2	13
私立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	1	0	2	3	0	1	4	3	3	6	2	25

設置形態	2016年度			2017年度			2018年度			2019年度			合計
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	
国立	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3
公立	3	6	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	11
私立	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	3	7	1	0	2	0	0	0	1	0	0	1	15

表1-31 専門職大学院認証評価の基準モデル（法科大学院を除く）

<p>基準1 目的及び入学者選抜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 専門職大学院の目的（大学院設置基準第1条の2において定めることとされている目的をいう。）が明確に定められており、その内容が、学校教育法に適合するものであり、当該目的が周知、公表されていること。</li> <li>• 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な学生の受入が実施され、機能していること。</li> <li>• 実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっていること。</li> </ul>
<p>基準2 教育課程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 教育課程が理論的教育と実務的教育の架橋に留意しつつ、各専門職大学院の目的に照らして体系的に編成されており、その内容、水準、授与される学位名との関係において適切であること。</li> <li>• 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。</li> <li>• 成績評価や単位認定、修了認定が適切であり、有効なものとなっていること。</li> <li>• 学習を進める上での履修指導が適切に行われていること。</li> </ul>
<p>基準3 教育の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 専門職大学院の目的において意図している、学生が身に付ける学力、資質・能力や養成しようとする人材像等に照らして、教育の成果や効果が上がっていること。</li> </ul>
<p>基準4 教員組織等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 教育課程を遂行するために必要な教員が適切に配置されていること。</li> <li>• 教員の採用及び昇格等の基準が、適切に定められ、運用されていること。</li> <li>• 教育の目的を達成するための基礎となる研究活動等が行われていること。</li> <li>• 教育課程を遂行するために必要な教育支援者が適切に配置されていること。</li> </ul>
<p>基準5 施設・設備の教育環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 専門職大学院の教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備並びに図書、学術雑誌等の教育研究上必要な資料が整備され、有効に活用されていること。</li> <li>• 学生相談・助言体制等の学習支援及び学生の経済支援等が適切に行われていること。</li> <li>• 専門職大学院における教育活動等を適切に遂行できる財政的基礎を有していること。</li> <li>• 各専門職大学院の目的を達成するために必要な管理運営のための組織及び事務組織が整備され、機能していること。</li> </ul>
<p>基準6 教育の質の向上及び改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 教育の状況等について点検・評価し、その結果に基づいて改善・向上を図るための体制が整備され、取組が行われており、機能していること。</li> <li>• 教員等に対する研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。</li> </ul>

表1-32 第1期中期目標達成状況の評価結果（確定後）

数字は法人数。（ ）内数字は全法人に対する割合

国立大学法人（86法人）

水 準	教育に関する目標	研究に関する目標	社会連携・国際交流に関する目標
非常に優れている	0（0.0%）	3（3.5%）	2（2.3%）
良好である	11（12.8%）	27（31.4%）	36（41.9%）
おおむね良好である	75（87.2%）	56（65.1%）	48（55.8%）
不十分である	0（0.0%）	0（0.0%）	0（0.0%）
重大な改善事項がある	0（0.0%）	0（0.0%）	0（0.0%）

大学共同利用機関法人（4法人）

水 準	研究に関する目標	共同利用に関する目標	教育に関する目標	社会連携・国際交流に関する目標
非常に優れている	1（25.0%）	0（0.0%）	1（25.0%）	0（0.0%）
良好である	1（25.0%）	2（50.0%）	1（25.0%）	2（50.0%）
おおむね良好である	2（50.0%）	2（50.0%）	2（50.0%）	2（50.0%）
不十分である	0（0.0%）	0（0.0%）	0（0.0%）	0（0.0%）
重大な改善事項がある	0（0.0%）	0（0.0%）	0（0.0%）	0（0.0%）

表1-33 第1期中期目標期間の学部・研究科等の現況分析結果（確定後）

数字は組織数。（ ）内数字は全組織数に対する割合

教育水準（817組織）

水 準	教育の実施体制	教育内容	教育方法	学業の成果	進路・就職の状況
期待される水準を大きく上回る	7 (0.9%)	6 (0.7%)	7 (0.9%)	6 (0.7%)	2 (0.3%)
期待される水準を上回る	122 (14.9%)	169 (20.7%)	164 (20.1%)	85 (10.4%)	78 (10.0%)
期待される水準にある	686 (84.0%)	641 (78.5%)	645 (78.9%)	714 (87.4%)	683 (87.9%)
期待される水準を下回る	2 (0.2%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	12 (1.5%)	14 (1.8%)

当時の段階で、「進路・就職の状況」について、40組織が「判定しない」とした。

研究水準（619組織）

水 準	研究活動の状況	研究成果の状況
期待される水準を大きく上回る	36（5.8%）	29（4.7%）
期待される水準を上回る	261（42.2%）	247（39.9%）
期待される水準にある	322（52.0%）	342（55.2%）
期待される水準を下回る	0（0.0%）	1（0.2%）

質の向上度（教育 817組織、研究 619組織）

質のレベル	教 育	研 究
「大きく改善、向上している」又は「高い質（水準）を維持している」	219（26.8%）	235（38.0%）
相応に改善、向上している	585（71.6%）	378（61.0%）
改善、向上しているとはいえない	13（1.6%）	6（1.0%）

表1-34 第2期中期目標達成状況の評価結果

数字は法人数。（ ）内数字は全法人に対する割合

国立大学法人（86法人）

大 項 目	非常に優れている	良 好	おおむね良 好	不十分	重大な改善事項
教育に関する目標	0 (0.0%)	11 (12.8%)	74 (86.0%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)
研究に関する目標	5 (5.8%)	13 (15.1%)	67 (77.9%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)
その他(社会連携・国際化)の目標	1 (1.2%)	21 (24.4%)	64 (74.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

大学共同利用機関法人（4法人）

大 項 目	非常に優れている	良 好	おおむね良 好	不十分	重大な改善事項
研究に関する目標	0 (0.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
共同利用に関する目標	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
教育に関する目標	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他(社会連携・国際化)の目標	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

表1-35 第2期中期目標期間の学部・研究科等の現況分析結果

数字は組織数。( )内数字は全組織数に対する割合

教育水準 (831組織)

水 準	教育活動の状況			教育成果の状況		
	実施体制	内容・方法	項目判定	学業成果	進路・就職状況	項目判定
期待される水準を大きく上回る	—	—	2 (0.2%)	—	—	0 (0.0%)
期待される水準を上回る	98 (11.8%)	172 (20.7%)	224 (27.0%)	63 (7.6%)	33 (4.0%)	87 (10.5%)
期待される水準にある	732 (88.1%)	656 (78.9%)	602 (72.4%)	760 (91.5%)	786 (94.6%)	734 (88.3%)
期待される水準を下回る	1 (0.1%)	3 (0.4%)	3 (0.4%)	8 (1.0%)	5 (0.6%)	10 (1.2%)

研究水準 (598組織)

水 準	研究活動の状況			研究成果の状況	
	活動状況	共同利用・共同研究	項目判定	成果の状況	項目判定
期待される水準を大きく上回る	—	—	10 (1.7%)	—	25 (4.2%)
期待される水準を上回る	229 (38.3%)	59 (54.6%)	234 (39.1%)	272 (45.5%)	247 (41.3%)
期待される水準にある	369 (61.7%)	49 (45.4%)	354 (59.2%)	325 (54.3%)	325 (54.3%)
期待される水準を下回る	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	1 (0.2%)

質の向上度 (教育 831組織、研究 598組織)

質のレベル	教 育	研 究
「大きく改善、向上している」又は「高い質(水準)を維持している」	33 (4.0%)	155 (25.9%)
改善、向上している	239 (28.8%)	138 (23.1%)
質を維持している	548 (65.9%)	304 (50.8%)
質を維持しているとはいえない	11 (1.3%)	1 (0.2%)



表1-36 第3期中期目標達成状況の評価結果（4年目終了時評価）

数字は法人数。（ ）内数字は全法人に対する割合

国立大学法人（86法人）

大項目	特筆すべき進捗	計画以上の進捗	順調	おおむね順調	遅れている
教育に関する目標	2 (2.4%)	17 (20.0%)	56 (65.9%)	10 (11.8%)	0 (0.0%)
研究に関する目標	15 (17.6%)	31 (36.5%)	33 (38.8%)	6 (7.1%)	0 (0.0%)
社会連携等・地域志向に関する目標	0 (0.0%)	30 (35.7%)	47 (56.0%)	7 (8.3%)	0 (0.0%)
その他（グローバル化等）の目標	2 (2.3%)	20 (23.0%)	63 (72.4%)	2 (2.3%)	0 (0.0%)
教育研究等の質の向上に関する目標	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

大学共同利用機関法人（4法人）

大項目	特筆すべき進捗	計画以上の進捗	順調	おおむね順調	遅れている
研究に関する目標	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
共同利用・共同研究に関する目標	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
教育に関する目標	0 (0.0%)	1 (25.0%)	3 (75%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
社会連携等に関する目標	0 (0.0%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他（グローバル化、大学共同利用機関法人間の連携）の目標	0 (0.0%)	1 (25.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

## 第二部 国立大学等の施設費等の貸付・交付

表2-21 施設費貸付事業（附属病院整備）貸付実績（単位：百万円）

年 度	施設整備費	病院特別医療機械整備費（設備整備費）	合 計
2016年度（平成28年度）	40,621 (30法人59事業)	15,303 (21法人25事業)	55,924 (34法人84事業)
2017年度（平成29年度）	35,004 (31法人51事業)	32,056 (22法人28事業)	67,060 (35法人79事業)
2018年度（平成30年度）	27,894 (25法人40事業)	18,594 (24法人25事業)	46,488 (30法人65事業)
2019年度（令和元年度）	22,296 (23法人46事業)	22,530 (23法人24事業)	44,827 (31法人70事業)
2020年度（令和2年度）	28,440 (32法人63事業)	21,985 (21法人21事業)	50,425 (36法人84事業)

\* 各欄積算と合計額の数字は、四捨五入の関係で一致しないことがある。

表2-22 施設費交付事業の交付実績（単位：百万円）

年 度	施設整備費 (営繕事業費)
2016年度（平成28年度）	3,862(90法人)
2017年度（平成29年度）	3,783(90法人)
2018年度（平成30年度）	3,750(90法人)
2019年度（令和元年度）	3,796(90法人)
2020年度（令和2年度）	3,987(89法人)

図2-21 令和2年度IR資料抜粋



### 第三部 多様な学習の成果に基づく学位取得の機会の提供

表3-21 学位規則第六条第1項に基づく学位授与申請者数の推移

専攻分野の 名称	学 士 の 学 位 授 与 申 請 者 数											合 計
	2010 年度*	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	
文 学	567 (245)	38 (15)	18 (12)	16 (10)	26 (19)	21 (8) [5]	26 (6) [6]	21 (10) [4]	17 (8) [1]	17 (2) [2]	27 (14) [5]	794
教育学	2,312 (1,965)	159 (129)	175 (153)	137 (129)	196 (178)	197 (108) [70]	207 (82) [100]	242 (92) [134]	189 (64) [109]	218 (86) [114]	186 (67) [104]	4,218
神 学	23 (3)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	3 (1)	1	3	0	0	0	0	35
社会学	117 (5)	2	8	6	8	3	6 (4)	3	2	1	0	156
教 養	171 (92)	5 (1)	6 (5)	6 (4)	7 (4)	7 (3)	9 (6)	9 (7)	5 (4)	3 (1)	2 (2)	230
学 芸	47 (4)	4	2	2	2	5 (1)	2 (1)	1	0	1	2 (2)	68
社 会 科 学	48	3	4	0	4	1	4	2	2	1	1	70
法 学	101	8	12	14	9	8	3	7	5	7	3	177
政治学	27	0	3	5	0	2	1	1	0	0	1	40
経済学	70	8	7	4	2	2	5	1	3	2	2	106
商 学	105 (47)	1	4	1	1	2	1	2	0	0	1	118
経営学	172 (94)	18 (13)	14 (8)	16 (12)	16 (13)	8 (5) [2]	17 (1) [15]	11 [8]	11 [10]	4 [2]	9 [8]	296
理 学	190	9	22	24	12	14	14	15	12	18	8	338
薬 学	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
薬科学	1	0	0	1	1	0	3	2	3	1	5	17
看護学	4,478 (621)	397 (81)	491 (93)	565 (117)	543 (156)	454 (106) [18]	492 (121) [17]	467 (98) [37]	517 (101) [31]	505 (102) [31]	452 (92) [18]	9,361
保 健 衛生学	3,992 (341)	130 (15)	120 (14)	115 (20)	92 (25)	105 (12) [12]	107 (18) [11]	113 (15) [10]	126 (38) [11]	122 (44) [12]	121 (46) [13]	5,143
鍼灸学	147 (9)	3	4	5	5	3	3	2	3	2	7	184
口 腔 保健学	73 (69)	42 (38)	48 (45)	53 (50)	49 (47)	57 (27) [28]	55 (28) [23]	59 (31) [26]	75 (38) [34]	63 (33) [25]	82 (51) [27]	656
柔 道 整復学	-	-	-	-	5	0	1	1	1	2	0	10
栄養学	2,505 (2,230)	103 (80)	66 (54)	70 (60)	78 (62)	74 (44) [20]	65 (41) [15]	58 (25) [27]	64 (21) [33]	53 (18) [21]	46 (12) [25]	3,182
工 学	15,709 (14,907)	1,777 (1,729)	1,704 (1,665)	1,551 (1,517)	1,512 (1,481)	1,583 (216) [1,323]	1,454 (90) [1,341]	1,462 (76) [1,361]	1,612 (8) [1,584]	1,488 (3) [1,469]	1,550 (3) [1,536]	31,402
芸 術 工 学	383 (370)	0	2 (2)	2 (2)	1 (1)	1 [1]	0	0	0	0	0	389
商船学	78 (76)	21 (18)	19 (18)	12 (12)	12 (12)	21 (19)	13 [13]	12 [12]	16 [16]	13 [13]	11 [11]	228
農 学	134 (106)	2	0	1	0	1	4	2	1	0	2	147
水産学	4	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	6
家政学	126 (67)	7 (6)	5 (3)	7 (7)	6 (5)	6 (5)	5 (4)	6 (6)	6 (6)	2 (1)	4 (3)	180
芸術学	4,667 (4,143)	186 (163)	170 (157)	92 (86)	75 (69)	96 (56) [31]	91 (54) [25]	86 (50) [27]	73 (48) [20]	110 (81) [21]	128 (88) [31]	5,774
体育学	83 (51)	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	87
合 計	36,334 (25,445)	2,925 (2,290)	2,906 (2,231)	2,707 (2,027)	2,665 (2,073)	2,675 (610) [1,510]	2,592 (456) [1,566]	2,585 (410) [1,646]	2,743 (336) [1,849]	2,633 (371) [1,710]	2,651 (380) [1,778]	63,416

\* 1992～2010年度の総計。( )内数字は認定専攻科修了見込者等で内数 [ ]内数字は特例適用専攻科修了見込者で内数

表3-22 省庁大学校の認定教育課程一覧（2021年4月現在）

大学の学部に対応する教育を行う課程

認定課程名	認定年月日	修業年限	入学定員	取得者数累計	授与する学位 (専攻分野)
防衛医科大学校医学教育部医学科	1991.8.30	6年	80	1,958	学士(医学)
防衛大学校本科	1991.12.18	4年	480	12,293	学士(理学、工学、人文科学または社会科学)
水産大学校本科	1991.12.18	4年	185	5,405	学士(水産学)
海上保安大学校本科	1991.12.18	4年	60	1,183	学士(海上保安)
気象大学校大学部	1991.12.18	4年	15	409	学士(理学)
職業能力開発総合大学校長期課程 ※2016年度末廃止	1991.12.18	4年	-	4,930	学士(工学)
国立看護大学校看護学部看護学科	2001.3.26	4年	100	1,640	学士(看護学)
職業能力開発総合大学校総合課程	2012.2.13	4年	80	479	学士(生産技術)
防衛医科大学校医学教育部看護学科	2017.2.15	4年	120	440	学士(看護学)
合計				28,737	

大学院の修士課程に対応する教育を行う課程

認定課程名	認定年月日	修業年限	入学定員	取得者数累計	授与する学位 (専攻名)
防衛大学校理工学研究科前期課程	1991.12.18	2年	90	1,734 (54)	修士(理学または工学)
職業能力開発総合大学校研究課程 ※2012年度末廃止	1991.12.18	2年	-	470 (78)	修士(工学)
水産大学校水産学研究科	1994.6.23	2年	10	247 (33)	修士(水産学)
防衛大学校総合安全保障研究科前期課程	1997.3.11	2年	20	361 (131)	修士(安全保障学)
国立看護大学校研究課程部看護学研究科 前期課程	2005.2.10	2年	15	122 (68)	修士(看護学)
職業能力開発総合大学校 高度養成課程職業能力開発研究学域	2016.2.12	2年	20	48 (0)	修士(生産工学)
合計				2,982 (364)	

( ) 内数字は修了見込み申請で内数

大学院の博士課程に対応する教育を行う課程

認定課程名	認定年月日	修業年限	入学定員	取得者数累計	授与する学位 (専攻名)
防衛医科大学校医学教育部医学研究科	1991.8.30	4年	30	532 (0)	博士(医学)
防衛大学校理工学研究科後期課程	2001.3.12	3年	20	112 (17)	博士(理学または工学)
防衛大学校総合安全保障研究科後期課程	2009.2.13	3年	7	20 (3)	博士(安全保障学)
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科後期課程	2015.2.13	3年	3	4 (2)	博士(看護学)
合計				668 (22)	

( ) 内数字は修了見込み申請で内数

表3-23 学位規則第六条第2項に基づく学位取得者数の推移（省庁大学校）

大学の学部に対応する教育を行う課程

認定課程名	1991-2010年度	2011-2015年度	2016-2020年度	合計
防衛医科大学校医学教育部医学科	1,228	353	377	1,958
防衛大学校本科	7,850	2,188	2,263	12,301
水産大学校本科	3,485	965	963	5,413
海上保安大学校本科	772	194	217	1,183
気象大学校大学部	272	65	72	409
職業能力開発総合大学校長期課程 ※2016年度末廃止	4,279	644	7	4,930
国立看護大学校看護学部看護学科	658	484	498	1,640
職業能力開発総合大学校総合課程	-	64	417	481
防衛医科大学校医学教育部看護学科	-	-	440	440

大学院の修士課程に対応する教育を行う課程

認定課程名	1991-2010年度	2011-2015年度	2016-2020年度	合計
防衛大学校理工学研究科前期課程	1,198 (3)	303 (28)	233 (23)	1,734 (54)
職業能力開発総合大学校研究課程 ※2012年度末廃止	437 (51)	33 (27)	-	470 (78)
水産大学校水産学研究科	161 (19)	43 (4)	43 (10)	247 (33)
防衛大学校総合安全保障研究科 前期課程	216 (23)	78 (63)	67 (45)	361 (131)
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科前期課程	40 (20)	40 (26)	42 (22)	122 (68)
職業能力開発総合大学校 高度養成課程職業能力開発研究学域	-	-	48 (0)	48 (0)

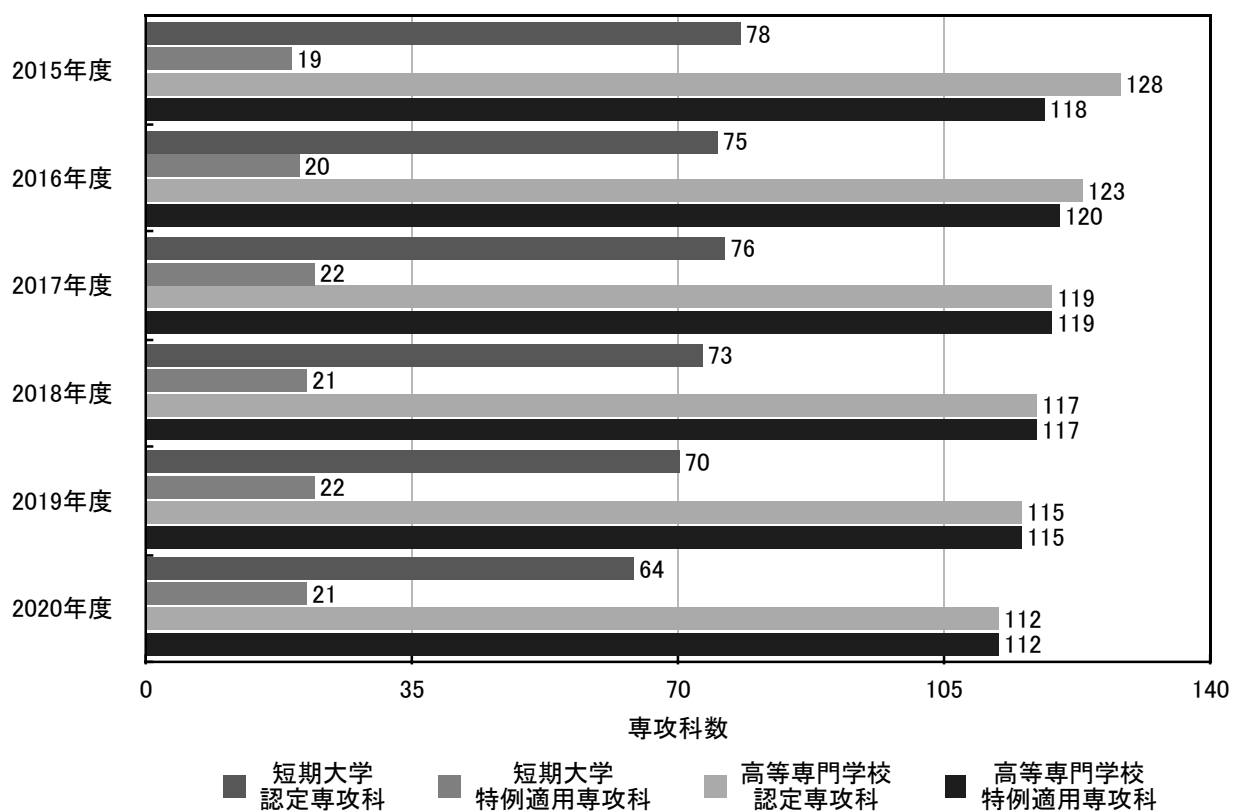
( ) 内数字は修了見込み申請で内数

大学院の博士課程に対応する教育を行う課程

認定課程名	1991-2010年度	2011-2015年度	2016-2020年度	合計
防衛医科大学校医学教育部医学研究科	345	95 (0)	92 (0)	532 (0)
防衛大学校理工学研究科後期課程	33	38 (4)	41 (13)	112 (17)
防衛大学校総合安全保障研究科 後期課程	-	12 (0)	8 (3)	20 (3)
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科後期課程	-	-	4 (2)	4 (2)

( ) 内数字は修了見込み申請で内数

図3-21 認定専攻科における特例適用認定の推移



## 第四部 大学等および質保証機関等との連携

表4-21 大学評価・学位授与機構評価事業部国際交流に関する方針（2007年4月13日）

<p>○目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・諸外国の高等教育の質保証、評価に関する情報収集により、評価事業の改善・向上及び当機構の行う評価事業の国際化に資する。</li><li>・我が国の高等教育機関に対して情報を整理、提供することにより、各機関の行う教育研究活動の質保証、評価活動の改善・向上に資する。</li><li>・当機構の行う評価事業の通用性を高め、我が国の高等教育機関の国際通用性を高めるとともに、我が国の高等教育利害関係者の保護に資する。</li></ul>
<p>○実施方針</p> <p>(1) 国際ネットワーク等</p> <p>APQN（Asia-Pacific Quality Network）の活動を中心として展開していくこととし、APQNでの中核的な役割を担うことを目指すとともに、アジア太平洋地域の代表としてINQAAHE（International Network for Quality Assurance Agency in Higher Education）への活動につなげる。</p> <p>文部科学省との連携の下でOECD、UNESCOなど国際機関の情報収集についても取り組む。</p> <p>(2) アジア太平洋地域</p> <p>中国教育部高等教育教学評価センター及び中国教育部学位与研究生教育发展センターを中心に中国との協力関係を構築・確立し、東アジアにおける質保証の国際通用性を高め、APQN加盟各国や欧米諸国に対するプレゼンスを示す。</p> <p>(3) 欧州地域</p> <p>QAA（the Quality Assurance Agency for Higher Education）との連携協力関係を構築・確立し、具体的な協力プロジェクトを行う。</p> <p>また、研究評価の担当機関であるHEFCE（The Higher Education Funding Council for England）についても連携協力の検討を行う。</p> <p>(4) 北米地域</p> <p>連邦政府教育省や地域ア krediteーション団体及びCHEA（Council for Higher Education Accreditation）などについての情報収集を行う。</p>
<p>○留意点</p> <p>（財）大学基準協会、日本技術者教育認定機構など国内評価機関等との連携を図る。</p> <p>交流の目的、内容、期待する成果など具体的な交流計画をあらかじめ明示し、実施についての評価を適切に行う。</p>

表4-22 国際フォーラムの開催日時と内容

大学評価フォーラム

開催年月日	テ ー マ	国外からの招待講演者
2007.9.20	評価への取組 改善への取組	—
2008.7.7	大学評価の戦略的活用と方法	Carolyn Campbell氏 (英国高等教育質保証機構 [QAA] 国際課長)
2009.8.3	内部質保証システムの充実をめざしたアカデミック・リソースの活用—個性ある大学づくりのために—	Peter Seldin氏 (ペース大学名誉教授) Jeff King氏 (テキサス・クリスチャン大学ケラーセンター所長・教授)
2010.8.2	学習成果を軸とした質保証システムの確立—学習成果の効果的なアセスメント・可視化・発信とは—	Linda Suskie氏 (米国中部高等教育委員会副会長)
2011.10.26	グローバル時代における新しい質保証—国際機関の取り組みからみえる「機能」とは—	Govindan Parayil氏 (国際連合大学副学長) Dirk Van Damme氏 (OECD教育局教育研究革新センター [CERI] 所長)
2012.7.23	「学び」からみる高等教育の未来	Richard A. DeMillo氏 (ジョージア工科大学特別教授) Staci Provezis氏 (イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校広報・評価担当上級コーディネーター、全米学習成果アセスメント研究所研究員)
2013.7.22	学生からのまなざし—高等教育質保証と学生の役割	Helka Kekäläinen氏 (欧州高等教育質保証協会 [ENQA] 副会長、フィンランド高等教育評価カウンシル [FINHEEC] 事務局長) Dan Derricott氏 (リンカン大学学生参画オフィサー) Nik Heerens氏 (エクセター大学PhD研究員)

大学質保証フォーラム

開催年月日	テ ー マ	国外からの招待講演者
2014.8.1	大学の多面的道しるべ—ランキング指標を問う—	Don F. Westerheijden氏 (トウェンテ大学高等教育政策研究所上級研究員)
2015.7.27	知の質とは—アカデミック・インテグリティの視点から—	Bruce Macfarlane氏 (サウサンプトン大学教育学スクール教授) Tim Burton氏 (英国高等教育質保証機構 [QAA] 基準・質・向上部門長)
2016.8.5	質保証、だれが何をどうするか	John N. Hawkins氏 (カリフォルニア大学ロサンゼルス校名誉教授) Padraig Walsh氏 (欧州高等教育質保証協会 [ENQA] 会長、アイルランド質保証・資格機構 [QQI] 機構長)
2017.8.7	教員と職員—学生のための大学をつくる—	Anthony McClaran氏 (オーストラリア高等教育質・基準機構 [TEQSA] CEO) Richard Saller氏 (スタンフォード大学人文・理学部長及び欧州研究所教授)



2018.8.6	国境を越える大学	Jason Lane氏（ニューヨーク州立大学オールバニー校教育学部教育政策・リーダーシップ学科長） Andrew Walker氏（モナシユ大学学長代理、モナシユ大学マレーシア校学長） Janny de Jong氏（フローニンゲン大学日本学センター長、エラスムス・ムンドゥス ユーロカルチャー修士課程長）
2019.7.25	変革期における大学質保証質保証	Jagannath Patil氏（インド国家評価アクレディテーション審議会 [NAAC] 顧問、高等教育質保証機関国際ネットワーク [INQAAHE] 及びアジア太平洋質保証ネットワーク [APQN] 前会長） Judith Eaton氏（米国高等教育アクレディテーション協議会 [CHEA] 会長）
2020.9.23	東京規約と学びの多様性—資格承認の転換期	Libing Wang氏（ユネスコ・バンコク事務所 教育イノベーション・スキル開発部門チーフ） Chantavit Sujatanond氏（東南アジア教育大臣機構 高等教育開発地域センター [SEAMEO RIHED] 所長） Luca Lantero氏（イタリア 学術移動・同性等情報センター [CIMEA] 代表、リスボン承認規約事務局代表）
2021.9.13	オンライン教育の支援と質保証—コロナ時代を越えて	Karen Treloar氏（オーストラリア高等教育質・基準機構 [TEQSA] Engagement Group ディレクター） Jamil Salmi氏（国際高等教育専門家、ディエゴ・ポルタレス大学高等教育政策名誉教授）

#### その他の国際フォーラム

開催年月日	名称・テーマ	国外からの招待講演者
2006.9.28	日本-ノルディック公開シンポジウム「大学評価をどう活かすか—北欧の成功から学ぶ—」評価への取組 改善への取組	北欧5か国（デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデン）の各質保証機関の代表者等
2010.6.17	日本・欧州質保証セミナー「ボローニャ・プロセスの進展とオランダ地域の取組」	William Aitchison氏（欧州委員会教育文化総局国際協力・プログラム担当官） Karl Dittrich氏（オランダ・フランダースアクレディテーション機構 [NVAO] 機構長） Sander van den Eijnden氏（オランダ高等教育国際協力機構 [Nuffic] 事務局長）
2010.12.8	日本・オーストラリア高等教育質保証セミナー「高等教育の国際化・学習成果の向上にむけたイニシアティブ」	Denise Bradley氏（オーストラリア高等教育質・基準機構 [TEQSA] 暫定会長） Carol Nicoll氏（オーストラリア学習・教育カウンシル会長）
2012.11.22	NIAD-UE国際セミナー「質保証が支える東アジアの大学間交流」	Min-Won Seo氏（韓国大学教育協議会 [KCUE] 大学評価院長） Byoung-Joo Kim氏（韓国嶺南大学校大学自体評価委員長・師範大学教育学科教授、国家教育科学技術諮問会議首席専門委員）
2013.10.1	ASEAN+3 高等教育質保証フォーラム（※文部科学省主催、機構は企画・協力機関として参画）	Sauwakon Ratanawijitrasin氏（東南アジア教育大臣機構 高等教育開発地域センター [SEAMEO RIHED] センター長）ほか、マレーシア、フィリピン、ベトナム、中国、韓国の教育省・大学・質保証機関関係者

表4-23 機構役職員による海外の質保証機関等での招聘講演（一部抜粋）

開催年月	会議・セミナー名称、主催機関	講演者
2009.11	国際シンポジウム「高等教育の質管理体制と大学の対応」 （主催）韓国大学教育協議会（KCUE）	平野眞一 機構長
2013.11	AERESセミナー「教育と研究のつながりの質へのまなざし」 （主催）フランス研究・高等教育評価機構（AERES）	岡本和夫 理事
2014.9	HEEC設立10周年記念国際フォーラム「高等教育における 質保証：海外の経験と中国の探求」 （主催）中国教育部高等教育教学評価センター（HEEC）	野上智行 機構長
2015.12	HEEACT創立10周年記念国際カンファレンス・フォーラム （主催）台湾高等教育評鑑中心基金会（HEEACT）	川口昭彦 顧問
2017.9	HEEACT-APQN 2017グローバルサミット「地域連携と調 和：ASEAN諸国と東アジアの高等教育質保証」 （主催）台湾高等教育評鑑中心基金会（HEEACT）、アジア 太平洋質保証ネットワーク（APQN）	福田秀樹 機構長 竹中 亨 研究開発部教授
2021.7	QAAウェビナー「質保証における国際パートナーシップ」 （主催）英国高等教育質保証機構（QAA）	土屋 俊 研究開発部長

※講演者の職名は当時

表4-24 日中韓の質の保証を伴った大学間交流に関するガイドライン：関係大学に対するガイドライン（抜粋）

<p>1. 内部質保証システムの構築</p> <p>a) 学校教育や教授に関する基本的な情報や、交流プログラムの詳細な情報の公表</p> <p>b) 体系的なカリキュラムを構成するとともに、作成されるシラバスや成績評価の水準や一貫性の維持に然るべき考慮を払うこと</p> <p>c) 包括的な教授システムや十分な管理の下、単位授与、成績評価、単位互換の手続きが国の定める法令等に適合していることを確認</p>
<p>2. 交流プログラムの効果的实施</p> <p>a) 実施上の規則や緊急時の事前対応について明文化</p> <p>b) 交流プログラムの重要な事項や詳細について協定を定め、一般に公表し、定期的にフォローアップを行う</p> <p>c) 単位互換システムの構築を模索する</p> <p>d) 大学と学生の間で、単位互換や学位記の扱い等を含む学習成果が認定されるか否かについて確認（「ラーニングアグリメント」を通じた連携大学との協力を含む）</p>
<p>3. 良質の学生支援</p> <p>a) すべての関係大学は、学生志向の原則に違ふことなく、学生の利益と関心を保証すること</p> <p>b) 志願者を含む学生に対して、自らのアカデミックキャリアにかかる意志決定のための十分かつ正確な情報源を提供すること</p> <p>c) 交流プログラムの実施手順や要件は、明確で、透明性があり、理解しやすいものとする</p> <p>d) 留学生が情報サービスや申請サービス、及びその他の相談対応などの各種のサービスを活用でき、自らのアカデミックキャリアを準備できるような「ワンストップサービス」をできる限り提供すること</p> <p>e) 交流学生に対して、必要な言語訓練や継続的なサポート、「文化交流」のガイダンスや機会を提供すること</p> <p>f) より良い支援を提供するため、カウンセラーやTA、ボランティア及びその他学内で利用可能なあらゆる人員を通じ、留学生とのコミュニケーションを確保すること</p>

表4-25 日中韓のトライアングル交流事業の採択プログラム（2016～2020年度）

継続採択プログラム

大学名	交流相手先	交流レベル	構 想 名
東京大学	北京大学（中国） ソウル大学校（韓国）	大学院	北京-ソウル-東京（BESETO）ダブル・ディグリー・プログラム：国際・公共政策共同研究
東京工業大学	清華大学（中国） 韓国科学技術院（韓国）	大学院 学部	日中韓先進科学技術大学教育環高度化プログラム
一橋大学	北京大学（中国） ソウル大学校（韓国）	大学院	アジア・ビジネスリーダー・プログラム II（アドバンスト）
名古屋大学	中国人民大學、清華大学、上海交通大学（中国）、成均館大学校、ソウル大学校（韓国）	大学院 学部	東アジア「ユス・コム・ネ」（共通法）形成にむけた法的・政治的認識共同体の人材育成
神戸大学	復旦大学（中国） 高麗大学校（韓国）	大学院	東アジアにおけるリスク・マネジメント専門家養成プログラム
岡山大学	吉林大学（中国） 成均館大学校（韓国）	大学院 学部	東アジア高等教育圏を見据えた中核的高度実践人＝アジアクラット育成プログラム
九州大学	上海交通大学（中国） 釜山大学校（韓国）	大学院	エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム—ダブルディグリープログラムの高度化と定着・恒常化
立命館大学	広東外語外貿大学（中国） 東西大学校（韓国）	学部	東アジア人文学リーダー養成のための、日中韓共同運営移動キャンパス

新規採択プログラム

大学名	交流相手先	交流レベル	構 想 名
千葉大学	清華大学、浙江大学（中国） 延世大学校（韓国）	大学院 学部	植物環境イノベーション・プログラム
東京大学	北京大学（中国） ソウル大学校（韓国）	学部	日中韓教養教育アライアンスによる高度教養教育の充実と「協創型人材」の育成
東京学芸大学	北京師範大学（中国） ソウル教育大学校（韓国）	大学院 学部	東アジア教員養成国際大学院プログラム
東京藝術大学	中国伝媒大学（中国） 韓国芸術総合学校（韓国）	大学院	国際アニメーションコース創設に向けた日中韓Co-workカリキュラム
東京海洋大学	上海海洋大学（中国） 韓国海洋大学校（韓国）	大学院 学部	「日中韓版エラスムス」を基礎とした海洋における国際協働教育プログラム
大阪大学	北京大学、清華大学、上海交通大学、天津中医薬大学（中国）、延世大学校（韓国）	大学院 学部	世界的健康問題の解決に向けた医学研究グローバルリーダー育成プログラム
九州大学	同濟大学（中国） 釜山大学校（韓国）	大学院 学部	アジア都市・建築環境の発展的持続化を牽引する人材育成のための協働教育プログラム
長崎大学	山東大学（中国） 成均館大学校（韓国）	大学院	日中韓の大学間連携によるインフラストラクチャーを支える人材育成事業
早稲田大学	北京大学（中国） 高麗大学校（韓国）	学部	多層的紛争解決・社会変革のためのグローバルリーダー共同育成プログラム

表4-26 国内情報センターに求められる高等教育の情報提供の範囲

<p>●各締約国が、自国で交付した資格に対する他の締約国での承認に際して、他の締約国の承認当局による十分な根拠に基づいた当該資格承認を確実なものとするために、提供を求められる情報：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(a) 当該国の高等教育制度の説明</li><li>(b) 当該国の高等教育制度に属する種々の高等教育機関の概要およびそれぞれの典型的な特徴</li><li>(c) 当該国の高等教育制度に属する承認および/あるいは認定された高等教育機関の一覧。それぞれが有する種々の資格を授与する権限およびそれぞれの種類の機関および課程への志願要件を示す一覧</li><li>(d) 質保証メカニズムに関する説明</li><li>(e) 締約国がその教育制度に属するとみなす教育機関で、その領域の外に位置するものの一覧</li></ul>
<p>●資格の承認を促進することを目的に、次の方法により、適切で正確かつ最新の情報提供を行う：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(a) 高等教育制度および当該国の資格に関する公式で正確な情報の入手を容易にする。</li><li>(b) 他の締約国の高等教育制度および資格に関する情報の入手を容易にする。</li><li>(c) 国内法令に則って資格の承認および評定に関する助言または情報を与える。</li></ul>

## 第五部 調査研究の推進

表5-21 調査研究プロジェクト報告書一覧

発行年月	調査研究報告書名とURL
2006.3	大学の諸活動に関する測定指標の調査研究報告書 <a href="https://www.niad.ac.jp/publication/tyousa/project/shihyo.html">https://www.niad.ac.jp/publication/tyousa/project/shihyo.html</a>
2007.3	評価結果を教育研究の質の改善・向上に結びつける活動に関する調査研究報告書 <a href="https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/houkokusyo.pdf">https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/houkokusyo.pdf</a>
2007.6	「高等教育機関における経営手法の現状に関する調査」に関する報告 <a href="https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/keiei.pdf">https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/keiei.pdf</a>
2008.3	諸外国における共同学位に関する調査研究報告書 <a href="https://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2010/10/06/no8_joint_degree_final_report.pdf">https://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2010/10/06/no8_joint_degree_final_report.pdf</a>
2008.3	大学外組織評価研究会中間報告書 <a href="https://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2009/05/22/soshikihyouka_chukanhoukoku.pdf">https://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2009/05/22/soshikihyouka_chukanhoukoku.pdf</a>
2009.3	大学外組織評価研究会最終報告書 <a href="https://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2009/06/04/soshikihyouka_saishuhoukoku.pdf">https://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2009/06/04/soshikihyouka_saishuhoukoku.pdf</a>
2009.3	日本におけるティーチング・ポートフォリオの可能性と課題—ワークショップから得られた知見と展望— <a href="https://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2009/05/27/houkokusho_tp200903.pdf">https://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2009/05/27/houkokusho_tp200903.pdf</a>
2009.3	国立大学の教育・研究活動に関する定量的データ・指標に関する基盤的調査 <a href="https://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2009/06/15/shihyo2009.pdf">https://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2009/06/15/shihyo2009.pdf</a>
2010.5	大学の「学習成果」を軸とした教育・評価・エビデンスの発信を可能とする体制についての研究 <a href="https://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2010/06/02/no8_gakusyuseikatyukan100531.pdf">https://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2010/06/02/no8_gakusyuseikatyukan100531.pdf</a>
2010.7	大学評価・学位授与機構研究報告（第1号）『学位と大学 イギリス・フランス・ドイツ・アメリカ・日本の比較研究報告』 <a href="https://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2010/09/01/no8_gakuitodaigaku.pdf">https://www.niad.ac.jp/ICSFiles/afieldfile/2010/09/01/no8_gakuitodaigaku.pdf</a>
2012.3	Evaluability Assessment 研究報告書 大学の質保証力向上のための理論と実践 <a href="https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/_icsFiles/afieldfile/2012/11/14/no8_EAseikahoukokuosyo.pdf">https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/_icsFiles/afieldfile/2012/11/14/no8_EAseikahoukokuosyo.pdf</a>
2012.4	大学評価のメタ評価に関する調査研究報告書 <a href="https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/_icsFiles/afieldfile/2014/10/16/no09_meta.pdf">https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/_icsFiles/afieldfile/2014/10/16/no09_meta.pdf</a>
2012.12	海外の高等教育機関との連携・共同を伴う教育プログラムに関する調査報告書 <a href="https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/no9_c2013013102.pdf">https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/no9_c2013013102.pdf</a>
2012.12	大学の教育面における国際化とその質保証に関する調査報告書 <a href="https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/no9_c2013013101.pdf">https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/no9_c2013013101.pdf</a>
2013.3	大学の内部質保証力を向上させるための支援ツールの開発と普及に関する報告書 <a href="https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/_icsFiles/afieldfile/2013/05/02/no9_h25-0417_EA2_report_ver3.pdf">https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/_icsFiles/afieldfile/2013/05/02/no9_h25-0417_EA2_report_ver3.pdf</a>

2014.3	ティーチング・ポートフォリオの定着・普及に向けた取り組み—効果検証・質保証・広がり— <a href="https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2014/07/07/no9_20140707TP.pdf">https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2014/07/07/no9_20140707TP.pdf</a>
2014.10	高等教育機関における学習成果に関する調査報告書 <a href="https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2014/10/17/no09_nr14-1-1017.pdf">https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2014/10/17/no09_nr14-1-1017.pdf</a>
2015.3	韓国における学業資格認定のためのNICの設置について <a href="https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2015/07/14/no09_nr15-1-0714.pdf">https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2015/07/14/no09_nr15-1-0714.pdf</a>
2015.3	大学教育における分野別質保証の在り方に関する調査研究報告書 <a href="https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2015/08/03/no09_nr15-2-0803.pdf">https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2015/08/03/no09_nr15-2-0803.pdf</a>
2015.8	教育・研究水準の学系別評価基準のあり方にかかる調査研究報告書 学系別の教育・研究水準の評価にかかる参考例 <a href="https://www.niad.ac.jp/publication/tyousa/project/syousai.html">https://www.niad.ac.jp/publication/tyousa/project/syousai.html</a>
2016.1	学士学位取得者に対する「1年後・5年後調査」の分析—「学位取得に対する満足度」を中心に— <a href="https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2016/02/08/no09_nr15-2-0208.pdf">https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2016/02/08/no09_nr15-2-0208.pdf</a>
2016.3	我が国における大学教育の分野別質保証の在り方に関する調査研究報告書 <a href="https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2016/07/14/no09_nr16-0714.pdf">https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2016/07/14/no09_nr16-0714.pdf</a>
2016.3	東アジアにおける国際連携・共同教育プログラムにおける質保証の在り方に関する調査 <a href="https://www.niad.ac.jp/publication/tyousa/project/syousai2.html">https://www.niad.ac.jp/publication/tyousa/project/syousai2.html</a>
2016.8	大学評価・学位授与機構研究報告(第2号)『高等教育における職業教育と学位—アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・中国・韓国・日本の7か国比較研究報告—』 <a href="https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2016/11/21/no8_shokugyokyouiikutogakuil60913_2.pdf">https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2016/11/21/no8_shokugyokyouiikutogakuil60913_2.pdf</a>
2017.3	大学教育における分野別質保証の在り方に関する調査研究報告書 <a href="https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2017/06/08/no09_nr17-0608.pdf">https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2017/06/08/no09_nr17-0608.pdf</a>
2018.3	大学への民間的発想・手法導入の有効性の検証と自律的活用のための指針の開発 <a href="https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2018/04/13/no09_nr18-0413-2.pdf">https://www.niad.ac.jp/n_shuppan/project/__icsFiles/afieldfile/2018/04/13/no09_nr18-0413-2.pdf</a>
2019.3	国際共同教育プログラムにおける質保証の在り方 <a href="https://www.niad.ac.jp/publication/tyousa/project/syousai3.html">https://www.niad.ac.jp/publication/tyousa/project/syousai3.html</a>

**大学改革支援・学位授与機構  
30年のあゆみ 参考資料集**

令和3年12月 発行

編 集 大学改革支援・学位授与機構30年史編集班

発 行 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構

〒187-8587

東京都小平市学園西町1-29-1

Tel : 042-307-1500

<https://www.niad.ac.jp/>

印 刷 山浦印刷株式会社

〒112-0014

東京都文京区関口1-39-10

